

# 平成31年度 事業報告書

大慈ほまれ幼保連携型認定こども園

## 1. 《基本方針》

- ①保育指針や幼保連携型認定こども園教育・保育要領の内容を遵守し、家庭的な雰囲気の中で、目標にむかってみんなで協力して教育、保育を行う。
- ②安全第一を考え、子どもが安心してすごせるようにする。
- ③職員一人一人が自己研鑽し、資質向上に努める。
- ④職員の定着に向けて、業務の効率化を図る。

## 2. 《平成31年度報告》

- ①地域に開かれた園になるよう、園開放・子育てサロンの充実を図る。  
→園開放は月に2回、子育てサロンは月に1回行った。
- ②理念をよく理解し、子どもや保護者に寄り添い、信頼関係を築き共育てを図る。  
→子どもの主体性を育むよう保育を進め始めた。
- ③運動遊びや律動を月1回全員で行い、子どもの体力作りを強化し、保育者の進行や技術能力も高め合う。  
→特に幼児は、保育室を全面使い、運動遊びや律動を行った。
- ④資質向上のため職場内、職場外研修を行う。
  - ・キャリアパス要件を満たすよう研修を受講した。
  - ・職員の資質向上のため、職員会議毎に研修・伝達講習を行った。
  - ・教育保育部門合同研修会を行った。  
11月7日・8日・19日・20日  
「子どもの主体性を育む。非認知能力を高めるには」をテーマに行った。
- ⑤人材確保・定着に努める。(ICTを導入し、効率化を図る)  
→保育書類をiPadで作成し、効率化に向けて取り組んだ。
- ⑥大慈あい小規模保育園との連携を図り、豊かな保育が行えるようにする。  
→お誕生日会やプール・水遊びを通して交流を図った。
- ⑦地域の子育て家庭の支援を積極的に行うと共に一時保育も充実させる。  
→一時保育のニーズに応えられるよう努めたが、十分とはいかなかった。
- ⑧リスクマネジメント会議を月1回行い、安全を確保する。  
→教育保育部門全体のリスクマネジメントも行い、想定内を増やすよう努めた。
- ⑨特色・次号内容の視覚化を進める。
  - ・地域の施設・学校・関係者に園だよりなどを配布し、園を知っていただくよう努めた。
  - ・湊川神社への避難訓練時、腕章をつけて、地域の方にも知っていただいた。
  - ・園開放・子育て広場にも遊びに来ていただいた。
  - ・園開放ポスターを病院に掲示していただいた。
- ⑩3歳児～5歳児の異年齢保育のグループを続け、縦割り保育の充実を図る。  
→異年齢の活動を増やし、主体的に取り組めるよう配慮した。

### 3. 《行事》

#### 年間行事

月	行事名
4月	入園式
5月	運動会 春の遠足（5歳児）
6月	歯科教育指導
7月	全園児プール開き 七夕祭り ワークキャンプ受け入れ 同園会・夏祭り
8月	地藏盆
9月	お泊り保育（5歳児）
10月	秋の遠足（全園児）
11月	作品展 参観ウィーク 津波避難訓練
12月	音楽会 クリスマス会
1月	おもちつき よいこの集い（5歳児） 六甲山スキー遠足（5歳児）
2月	生活発表会
3月	お別れ遠足（全園児） お別れ会 卒園式 津波避難訓練

#### 月間行事（月1回）

お誕生日会 子育て支援事業 防災訓練 防犯訓練

#### その他

- ・事故対応訓練（SIDS・プール事故・アレルギー対応）
- ・消火器 火災報知器の点検 年2回
- ・消防署による消防訓練 年1回
- ・警察署による交通安全教室・防犯訓練 年1回

### 4. 《保健衛生計画》

項目	頻度等
園児・職員定期内科健康診断	園児4・5月、10月 年2回 職員年1回
園児歯科健診	5月・11月 年2回
園児耳鼻科健診	5月 年1回
園児眼科健診	5月・10月 年2回
園児発育測定	月1回
園児検尿	兵庫県予防医学協会により年1回
調理員・保育教諭全員検便	(株)アリケンにより月1回以上
調理室の消毒	サニックスにより月1回
グリストラップの清掃	乾商事により年4回
エアコン・換気扇の清掃	乾商事により年1回

5. 《平成31年度在籍児一覧表》

2・3号認定こども

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	充足率
4月	8	13	14	11	12	11	69	115%
5月	8	13	14	11	12	10	68	113%
6月	9	13	14	11	12	10	69	115%
7月	9	13	14	11	12	10	69	115%
8月	9	13	14	11	12	10	69	115%
9月	9	13	14	11	12	10	69	115%
10月	9	13	14	11	12	10	69	115%
11月	9	13	14	11	11	10	68	113%
12月	9	13	14	11	11	10	68	113%
1月	9	13	14	11	11	10	68	113%
2月	9	13	14	11	11	10	68	113%
3月	9	13	14	11	11	10	68	113%
合計	106	156	168	132	139	121	822	114%

1号認定こども

	3歳児	4歳児	5歳児	合計	充足率
4月	7	5	5	17	113%
5月	7	5	6	18	120%
6月	7	5	6	18	120%
7月	7	5	6	18	120%
8月	7	5	6	18	120%
9月	7	5	6	18	120%
10月	7	5	6	18	120%
11月	7	5	6	18	120%
12月	7	5	6	18	120%
1月	7	5	6	18	120%
2月	7	5	6	18	120%
3月	7	5	6	18	120%
合計	84	60	71	215	119%

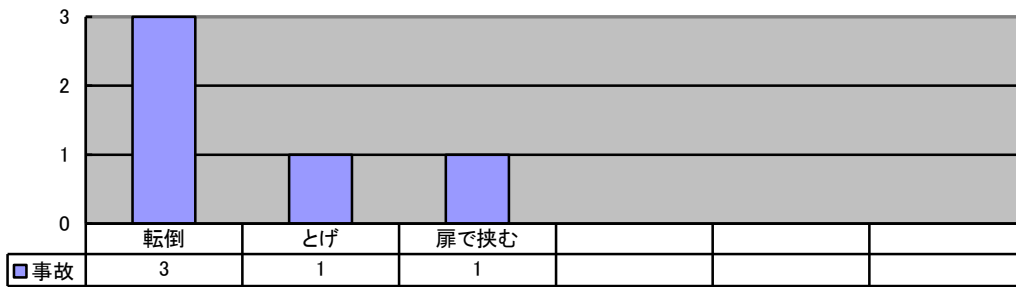
6. 《リスクマネジメント報告》

※医師の診察を受けた怪我を事故と定義する。

平成31年度 事故 5件

平成30年度 事故 2件

① 事故発生内容



② まとめ

転倒時、手を付けずに顔（口周り）を打つことが多かった。サーキットや遊びを通して手をしっかり付くことを伝えていくようにする。また大人の不注意からも起こっているので十分に注意し子どもの安全を守っていく。

7. << 苦情・相談結果報告 >>

苦情の定義→園長が直接対応した件を苦情とする。

○報告件数・・・2件

平成31年度				平成30年度			
報告件数	合計件数	苦情	相談	報告件数	合計件数	苦情	相談
		2件	1件		1件		3件

○まとめ

子どもの発育・虐待に関する相談・苦情報告だった。

保護者との信頼関係を築けるよう、日頃から会話を重ね、子どもについて情報共有をしていかなければならないとより一層感じた。

また、虐待防止の観点から、子どもの身体の観察を引き続き行い、保護者へは、虐待が疑われる時などは、事情を聴き、必要に応じて行政に報告するなど子どもの命を守ることを徹底しなければならない。

8. << 総括 >>

今年度は、非認知能力を高めるための保育に取り組み始めた。

子ども一人一人に寄り添い、何に興味があるのか、何をしている時が生き生きしているのかを探り保育を進めてきた。

しかし、非認定能力を高めるための保育については、まだまだ勉強し、環境も含めて職員全員で取り組んでいかなければならないと感じている。

行事について、運動会は、みんなが一体となって楽しく参加することができた。

生活発表会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、クラス毎の入れ替わりで行った。少人数で、保護者の方も見易かったのではないかと思います。

園庭が無いので、屋上園庭だけではなく、どんどん地域に出かけ、公園で思いっきり運動をする機会を増やしていきたい。

これからも子どもたちにとって最善だと思われることに取り組み、保護者や地域の子育て家庭への支援も積極的に行っていきたい。

新型コロナウイルス感染拡大防止により、年度末の行事や日常の保育が今までに経験したことの

ない取り組みになった。

これも時代の変化に伴うことなのか、今後どんな事態が起こり得るかわからないが、命を守ることを第一に考え、保育を行っていかなければならない。